



第115号

石川県生活協同組合連合会

〒920-0362 金沢市古府2-189  
コーポレートセンター2F  
TEL076-259-5962 FAX076-259-5963  
<http://ishikenren.jp>

発行日/2025年11月25日  
発行責任者/大谷学



講師の平野路子氏

日本生活協同組合連合会 政策企画室室長の平野路子氏を講師にお迎えし、ジェンダーに関する現状を踏まえ、地域社会で期待される生協の在り方を学びました。

ジェンダー、D&I（ダイバーシティ・アンド・インクルージョン）とは何か、なぜ今必要とされるのかを解説いただき、日本生協連が全国生協に学習を呼びかけている「DE&I」についてEとはEquity（公正性）「誰もが成功する機会を得られるようすること」の大切さを教えていただきました。

■ 現状をデータで示していただき、とてもわかりやすく、課題の深さを理解できました。

■ D&I (DE&I) の推進に向けた具体的な地域生協の取り組み事例や優先度など参考になりました。

■ 今後職場で活用できる内容でした。

■ 世代によっての思い込みが違っていて、自分で気づいていない事がたくさんあるんだなと思いました。もつともつとたくさんの人々に知つてもらいたい内容でした。D&Iを話し合つう場面も作つていきたいと思いました。



質疑応答では、会員生協の「Equityとは仲間外れにしない」という認識を共有するなど、講演後の交流が深まりました。



ピースデイでは、まず日本被団協ノーベル平和賞授賞式行動ツアーの参加報告がされました。昨年12月10日にノルウェーの首都オスロで授賞式が開催され、授賞式行動ツアーに石川県から担当実行委員会メンバーの西本多美子さん、大田健志さんが参



オスロ報告をする西本さん(左)と大田さん



歌に聞き入る参加者



でえげつさあのコンサートの様子



平和への願いを込めた折り鶴

### 平和のパネル展

知事馳浩氏より力強いメッセージをいただき、核兵器のない世界に向けた取り組みを次世代に引き継いでいくことの大切さを改めて感じたピースデイとなりました。

来賓挨拶として今年も石川県

例年、卯辰山玉兎が丘「平和の子ら像」前で開催しているピースデイを被爆80年企画として8月1日、石川県庁19階展望ロビー交流コーナーで開催しました。

## ピースデイ2025 & 平和のパネル展開催!

### ピースデイ2025

加され、現地での様子を画像とともに紹介されました。

また「でえげつさあ」の平和のミニコンサートでは♪青い空を♪平和の子らに続いて、被爆者西本多美子さんを歌つた♪たみちゃんの歌が披露されました。



挨拶をする馳知事

今年で2回目となります、パネル展開催中の8月6日(水)にスペシャルイベントを開催しました。安原昭二さんによる紙芝居『復刻版 原爆の子 さだ子の願い』の上演、石川県青年団協議会による戦争体験者の聞き取り報告などを実施しました。



報告される石川県青年団協議会の豊平慶彦さん

ピースデイに引き続き、8月15日まで県庁19階展望ロビーで平和のパネル展を開催しました。展示物はオスロ報告の写真をメインに、恒例の「原爆と人間」パネル、広島基町高校生の描いた「原爆の絵」です。

会場はピースデイで献納された折り鶴の他、パネル展の期間中持つてこられた折り鶴でいっぱいとなりました。皆さんの平和への願いが込められています。

金沢医療生活協同組合

## 次世代につなぐ平和への想いと祈り

生活協同組合コーピーいしかわ

## 「平和の旅ヒロシマ」「未来につなぐ 平和の想い」

生活協同組合コーピーいしかわ

被爆・戦後80年の節目の2025年度、コーピーいしかわでは、8月5日～6日に「平和の旅ヒロシマ」を開催し5組9名の組合員とその家族が、碑めぐりや平和式典に参加しました。被爆の実相や被爆者の想いを知った参加者は、平和を考え継承することの大切さを学びました。



原爆ドームをバックに「平和の旅ヒロシマ」の参加者の皆さん

また、8月11日には「未来につなぐ 平和の想い」ノーベル平和賞授賞式行動ツアー報告会を開催し、18名の参加者が西本多美子さん・大田健志さんのお話を通して

「平和のために私にできること」などについて考える機会となりました。

コーピーいしかわは、これからも学びや体験の場づくりをすすめ、組合員と一緒に平和について考え次世代に継承する取り組みをすすめていきます。

(コーピーいしかわ 西口 晴美)

## 金沢医療生活協同組合「金沢市天神町に根を下ろした金沢医療生活協同組合」



また、8月11日には「未来につなぐ 平和の想い」ノーベル平和賞授賞式行動ツアー報告会を開催し、18名の参加者が西本多美子さん・大田健志さんのお話を通して

がコロナの時も途切れずに続いている。広島・長崎で開かれ、「原水爆禁止世界大会への代表派遣から組合員や地域の方々に呼びかけて続けてきた歌声喫

茶は今年で20年。イラクなどの紛争地域を取材するジャーナリストのDVD視聴。中村哲さんの「荒野に希望の灯をともす」の映画会、沖縄からジャーナリストを迎えての学習会など取り組んできました。

憲法9条をないがしろにに戦争する国へひた走る危うさの中で平和の大切さを地域の皆さんと学び広げる活動をこれからも続けていきます。

11月8日に20年続けてきた歌声喫茶の集大成として「折り鶴」の作者の梅原司平さんと「愛と平和のコンサート」を開きました。平和を願う歌と語りで、会場いっぱいの入場者に大きな感動を呼び大成功でした。

(金沢医療生協)

理事長 近松 美喜子

金沢医療生活協同組合はけんろく診療所を中心に入療や介護の砦となるよう、34年間活動を続けています。中でも平和で

あってこそ医療や介護ということで平和委員会が組合員活動として続けられてきました。2

## 石川県労働者共済生活協同組合 第70回通常総代会

2025年7月30日(水)

石川県女性センター

挨拶をする黒谷治夫理事長  
(石川県労働者共済生活協同組合)(石川県  
労働者  
共済生協  
専務理事  
松岡 親司)

2025年度も引き続き組合員の大、出資増強をはかることや総合(慶弔)共済のほか、連合会の各種共済事業に関する普及宣伝をおこなうことが承認されました。

2025年度も引き続き組合員の大、出資増強をはかることや総合(慶弔)共済のほか、連合会の各種共済事業に関する普及宣伝をおこなうことが承認されました。

## 石川県生活協同組合連合会 創立60周年特集企画 vol.2 「生協運動の前進」

1986年～2005年

### ●生協のあゆみ(1986年～2005年)

1987年	第1回「石川県生協大会」開催(15回大会まで毎年開催)
1989年	機関紙「県連だより」第1号発行
1991年	金沢医療生活協同組合設立
1991年	県内6協同組合が参加し「石川県協同組合協議会」設立
1992年	金沢医療生協・石川共済生協が県連に加盟
1993年	石川県生協連が厚生労働大臣表彰を受賞
1995年	生活協同組合連合会コープ北陸事業連合設立
1995年	生協連創立30周年記念式典
1997年	金沢市と「災害時における生活必需物資の供給・確保に関する協定」を締結
1999年	生活協同組合連合会大学生活協同組合北陸事業連合設立
1999年	生協法制定50周年記念シンポジウム開催
2000年	生活協同組合コープいしかわ(小松・石川・七尾合併)設立
2000年	生協連事務所移転(石川県勤労者福祉文化会館へ)
2001年	臨時国会で食品衛生法改正・運用強化に関する請願が採択
2002年	石川県と「災害時における生活必需物資の供給に関する協定」を締結
2003年	石川工業高等専門学校生活協同組合設立
2003年	厚生労働大臣表彰 生協連橋会長理事・生活協同組合コープいしかわ受賞
2005年	第16回石川県生協大会(生協連創立40周年記念事業)開催
2005年	第1回「原爆と人間」パネル展を県庁19階展望ロビーで開催

●生協の連携強化  
第1回生協大会の開催や金沢医療生協、石川県勤労者共済生協の県連加盟、生協連創立30周年記念式典、40周年記念事業の開催、また3つの地域生協が合併し、コープいしかわが設立されるなど生協間の連携強化が進み、生協運動が

前進しました。  
この時期、現在生協連の会員であるコープ北陸事業連合、大学生協北陸事業連合、石川高専生協が設立されました。  
また、県内6協同組合が参加し、石川県協同組合協議会も設立されました。

### 生協連創立60周年に寄せて

石川県生協連60周年おめでとうございます。生協連も還暦を迎えたんですね。私はそのうちの8年間お世話になりました。退任したのは東北の震災の年でした。当時は午後からエコハウスで会議があり向かっている時車がひどく揺れたのを今でもはっきり覚えています。地震と言えば昨年の能登半島地震は記憶に新しいことです。が、県連にいた2007年3月にも輪島を中心に大きな地震がありました。当日は日曜日で町内作業後車に乗るとラジオが地震を伝えていました。慌てて県連に駆



元専務理事 表 重雄氏

あの頃、あの時

け付けるとすでに関西地連からメールが入っていて対応し、日生協の総会で現状を訴え、義援金が数千万円集まり石川県に届けました。昨年の地震では日生協が義援金を集め数億円を届けたことを新聞等で知りました。この時ほど生協組合員の力ってすごいなあと感じました。

表 重雄

### 石川県生協連 創立60周年記念講演会

「生活協同組合(県連)が果たしてきた役割と今後について」

- ◆日時：2026年2月28日(土) 10:00～12:00
- ◆会場：ホテル金沢 ダイヤモンドB
- ◆講師：日本生協連 代表理事副会長 島田 裕之 氏



## 石川県生活協同組合連合会 創立60周年に寄せて part.1

金沢医療生活協同組合

金沢大学生活協同組合

コープ北陸事業連合

石川県生活協同組合連合会に加盟している会員生協の交流企画として、2012年・2014年に会員生協訪問ツアーやを開催しました。会員生協の事業内容と活動内容は様々です。私が印象に残っている企画は訪問ツアーやに参加できることです。直

接事業の概要と活動について、説明を受けながら施設見学ができたことです。それぞれの事業内容を知ることもでき、有意義な時間を過ごすことができました。事業内容は異なりますが、組合員の思いを形にしていくことが共通する部分だと知ることができました。それぞれの事業所が消費者（組合員）に寄り添った活動を、これからも連携しながら取り組むことで役割が発揮できることを学びました。

（金沢医療生活協同組合  
専務理事 柴原 ひろみ）

石川県生活協同組合連合会に加盟している会員生協の交流企画として、2012年・2014年に会員生協訪問ツアーやを開催しました。会員生協の事業内容と活動内容は様々です。私が印象に残っている企画は訪問ツアーやに参加できることです。直

接事業の概要と活動について、説明を受けながら施設見学ができたことです。それぞれの事業内容を知ることもでき、有意義な時間を過ごすことができました。事業内容は異なりますが、組合員の思いを形にしていくことが共通する部分だと知ることができました。それまでの事業所が消費者（組合員）に寄り添った活動を、これからも連携しながら取り組むことで役割が発揮できることを学びました。

（金沢医療生活協同組合  
専務理事 柴原 ひろみ）



金沢医療生活協同組合  
専務理事 柴原 ひろみ 氏



金沢大学生活協同組合  
専務理事 坂口 辰彦 氏

県連は私や金大生協にとって、「命の恩人」的な存在です。

金大生協は1999年頃経営

が悪化し、経営再建が始まりました。当時専務の横山さんは金大生協の事情をよくご存じで、精神面を含め、様々なご支援をいただきました。

その頃私は管理、組織面を担当しており、県の指導検査対応や組織運営について、理事の鯉野さんから懇切丁寧にご助言をいただきました。また、県の融資、金融機関のご紹介などもしていただきました。おかげで2008年には累積赤字は解消



コープ北陸事業連合  
野村 倫代 氏

金大生協を支えてくださったという思いが大きいです。石川県内には様々な生活協同組合があり、その組合員のためにも会員生協を今後も支えていただけたら心強いです。

（金沢大学生活協同組合  
専務理事 坂口 辰彦）

専務理事 坂口 辰彦）

2007年3月25日に能登半島で最大震度6強の地震が発生しました。コープ北陸では役職員の他にお取引先に対しても募金を呼びかけ、寄せられた募金を石川県生協連・コープいしかわと共に義援金として石川県（当時は谷本県知事）に贈呈しました。

野村 倫代  
(コープ北陸事業連合)

が大幅に減少した時も、専務の浅田さんから会費免除のご提案をいただき、ご対応いただきました。

（金沢医療生活協同組合  
専務理事 柴原 ひろみ）



この命が失われました。石川県生協連の中にコープ被災地支援センターが立ち上げられ、全国生協と連携した様々な被災者支援活動に勇気をもらい、生協職員の一人として被災者支援活動に関わっていく原動力となりました。1日でも早い復旧・復興を目指し、組織としても「能登半島地震復興応援企画」の継続など、これからも被災地の支援活動に取り組んでいきます。

（コープ北陸事業連合  
野村 倫代）

## 県生協連活動日誌

- 8 ● 8月1~15日 被爆80年企画 ピースデイ  
▶石川県庁19階展望ロビー交流コーナー 平和のパネル展▶石川県庁19階展望ロビー 第1回三役会▶生協連事務所及びWeb会議 労福協第3回理事会、懇親会▶金沢市文化ホール 平和のパネル展スペシャルイベント ▶石川県庁19階展望ロビー交流コーナー 令和7年度(第66回)石川県防災総合訓練第2回 打合せ会議▶石川県庁会議室 60周年第4回実行委員会▶Web会議 パネル展片付け▶石川県庁19階展望ロビー 日生協関西地連非常用通信機器訓練 いしかわフードバンク・ネット第2回理事会 ▶石川県社会福祉協議会 令和7年度 金沢市食の安全・安心委員会(欠席) 第4回反核・平和おりづる市民のつどい実行委員会 ▶Web会議
- 9 ● 9月 1日 第4回協同組合間連携会議▶石川県農業会館 令和7年度第1回石川県食品安全安心対策懇話会 ▶(株)ヤマト醤油味噌  
● 9月2~3日 つながる力で能登を笑顔にアクション ▶ANAクラウンプラザホテル つながる力で能登を笑顔にフィールドワーク▶被災地 消費者支援ネットワークいしかわ第3回理事会 ▶金沢市長土堀青少年交流センター 第2回広報委員会▶Web会議  
● 9月10日 第3回理事会▶Web会議  
● 9月10日 労福協第4回理事会▶フレンドパーク石川 消費者支援ネットワークいしかわ第2回消費者部会 ▶金沢市長土堀青少年交流センター 第3回企画運営委員会▶Web会議 2025年度県連活動交流会▶神奈川県:ナビオス横浜 第5回協同組合間連携会議▶石川県農業会館  
● 9月12日 関西地連第2回運営委員会▶Web会議  
● 9月24日 いしかわフードバンク・ネット第5回運営委員会(欠席) 第2回三役会▶Web会議
- 10 ● 10月 1日 2026年自治体要請 自治体担当者会議、連合石川 地方議員団との意見交換会▶フレンドパーク石川 CSNI グッドチョイスセミナー  
▶石川県消費生活支援センター 第5回60周年記念事業実行委員会▶Web会議  
● 10月 9日 第47回東海北陸生協行政合同会議▶三重県 CSNI グッドチョイスセミナー  
▶石川県消費生活支援センター 第2回新たな「いしかわの食と農業・農村ビジョン」 検討委員会▶石川県庁会議室  
● 10月22日 石川県防災総合訓練第3回打合せ会議 ▶石川県地場産業振興センター 消費者支援ネットワーク第4回理事会  
● 10月23日 ▶金沢市長土堀青少年交流センター 消費者支援ネットワークいしかわ担い手事業 リーフレット編集会議▶石川県女性センター 2025年度役員研修会▶石川県地場産業振興センター 第2回監事会▶古府センター  
● 10月30日 第6回協同組合間連携会議▶石川県農業会館
- 11 ● 11月1~2日 いしかわ環境フェア2025▶石川県産業展示館3号館 第65回石川県防災総合訓練▶かほく市  
● 11月 2日 第4回理事会▶Web会議  
● 11月10日 國際協同組合年イベント  
● 11月11日 関西地連第3回非常用通信機器訓練  
● 11月12日 労福協第5回理事会▶フレンドパーク石川 滋賀県生協連視察 全岐阜県生協連設立50周年記念式典 ▶ホテルグランヴェール岐山 第4回企画運営委員会▶Web会議 福岡県生協連研修対応 関西地連第3回運営委員会▶Web会議

## 私のオススメの一冊

## 『大人のための地学の教室』

ダイヤモンド社

鎌田 浩毅 著



本書は、主にプレート運動による地震や火山噴火のメカニズムを核やマントルといった地球の構造からわかりやすく解説されています。「地学とは何か」を一言で表すと「熱の放出」で、「地球は熱を放出しようとしている(冷めようとしている)」そうです。

東日本大震災を境に日本列島は地震と噴火が頻発する時代(大地変動時代)に入ったようで、南海トラフ巨大地震(東南海地震、東海地震、南海地震)は2035年をピークに前後5年の間(2030年代)に発生する可能性が高いとあります。

ちなみに、「2035年をピーク」とする根拠として、過去の南海トラフ地震の周期の他、高知県の漁師さんによる漁港の水深計測結果のことも紹介されています。南海トラフ巨大地震が起きたら富士山も二度目の揺れ(一度目の揺れは東日本大震災)に耐えられず噴火するだろうとも。

6800万人が被災し、220兆円の経済損失が発生すると言われる南海トラフ巨大地震で何が起きるのかだけでなく、地学とは何かを学びたい方の入門書としておすすめです。

コーポ北陸事業連合 森田 満

## 編集後記

私事で恐縮だが、地域情報誌「大学のある街」を仲間と発行して「一人暮らしの節約術」のコラムを担当している。最近の物価高騰、特に食費の値上がりは原稿を特に書きにくくさせている。比較的安定していた「豚肉」「もやし」「卵」「納豆」を便利でおいしく他の食材と相性がいい『優等生食材』として推奨してきたが、もやしはともかく卵や納豆、豚肉もじわじわと、値上がりはどこまで続くのか見通しも立たない。

全国大学下宿生の平均食費は1ヶ月26,110円で1日900円にも届かない。仕送りのない下宿生は約1割いる。下宿生の節約工夫したい費目で「外食含む食費」比率は7割もあり、学生には「これ以上食費は削るな」が本音である。

物価高を止めない政府にも腹はたつが、進まない原稿書きにいらつく今日この頃である。

生協連だより広報委員 金大生協 横川 勝巳